

庶民増税・消費税増税反対

ご近所のみなさん、こんにちは。こちらは日本共産党〇〇支部(後援会)です。ただいまから、この場所をお借りして、日本共産党の政策の訴えをさせていただきます。しばらくのご協力をよろしくお願い致します。

みなさん

六月に届いた、住民税の通知書を見て驚いたのではないのでしょうか。市役所にも、驚きと怒りの抗議の問い合わせが殺到し、一時は列ができるほどでした。日本共産党にも、「昨年比べて一〇倍になった」「これではくらしが成り立たない」などの悲痛な実態が手紙やFAXでよせられています。

なぜ、このような増税が行われたのでしょうか。それは、小泉内閣のもと自民・公明両党が、二〇〇四年、二〇〇五年の税制「改正」で決めたからです。日本共産党は当時、「高齢者に雪だるま式に痛みを押しつけるもの」と批判して反対しましたが、まさにその通りになっています。収入はまったく増えず、年金は下げられているのに、住民税が増えれば、介護保険料、国保料も連動して負担が増えてしまい、たまったものではありません。ある高齢者世帯では、増税と保険料の負担増だけで、一ヶ月分をこえる年金がふきとんでしまうものであり、「これでは生きて行かれない」との怒りの声は当然です。

日本共産党は、先日、「高齢者への増税の中止を求める申し入れ」を発表し、第一に、今実施されている高齢者への増税について、ただちに中止・見直しをはかること、第二に、今後、実施予定の増税も、凍結することを、政府に緊急に申し入れました。今、秋の臨時国会にむけて、署名も集めています。どうぞ、ご協力いただき、ご一緒に、これ以上の負担増をくいとめるために力をあわせてみましょう。

みなさん

小泉内閣最後の「骨太方針」では、財界の「消費税は15%必要」などの提言をうけて、消費税増税が盛り込まれていることも重大です。小泉首相は「(国民が)増税してもいいから必要な施策をやってくれというまで、歳出を徹底的にカットする」といってはなりました。これでは、国民生活を兵糧責めでしめ上げて、その先に消費税増税をおこなうというあまりにもひどい仕打ちではありませんか。

そもそも、消費税は「福祉のため」といつて導入されました。しかし、今年で一八年目になります。が、福祉は悪くなるばかりです。いったいどこに使われたのか。私たちの調査では、国民がおさめた消費税と、大企業が払うべき法人税が、ほぼ同じ額になっています。私たちが払ってきた消費税は、大企業の減税のためにそっくりあてられています。庶民のくらしを脅かしておいて、大企業には大減税というこの逆立ちこそ正すべきです。また、アメリカ軍のグアムへの基地移転に3兆円も使おうとする、こうしたむだ遣いこそ見直すべきです。この「逆立ち税制」を正せば、くらしも福祉も守れます。日本共産党は、この立場で、庶民増税をくいとめるために引き続き全力をあげます。

国政では、くらし福祉対策責任者のあやべ澄子が先頭にたってがんばります。悪政をかえるために草の根でがんばる人々の姿を報道し、くらしを励ます「しんぶん赤旗」をお読み下さるようお願いし、この場所からの訴えをおわらせていただきます。ありがとうございました。